

令和4年産 紀南のみかん産地情報

2022/07/12

1. 本年の早生みかんは、満開日が5月2日と前年より1日程度遅く、平年より2日程度早くなった。

また、生理落果は昨年秋・冬期の寒さや乾燥の影響を受け、落葉した樹では生育が芽の伸長に偏り第一次生理落果は多くなった。第二次生理落果は落果期前半は少なかったが、後半に温度・湿度が高くなり落果ピークを迎えた。

現在は順調に生育している。



2. 極早生・早生みかんは、園・樹によりバラツキはあるが着果はやや少ない傾向にあり、現在高品質果実生産のためマルチ被覆やフィガロン散布を呼びかけている。

7月5日時点の果実肥大は、日南1号で果径は32.4mm（前年比95.5%、平年比99.0%）、早生みかんは31.3mm（前年比101.9%、平年比103.6%）と平年並みとなっている。

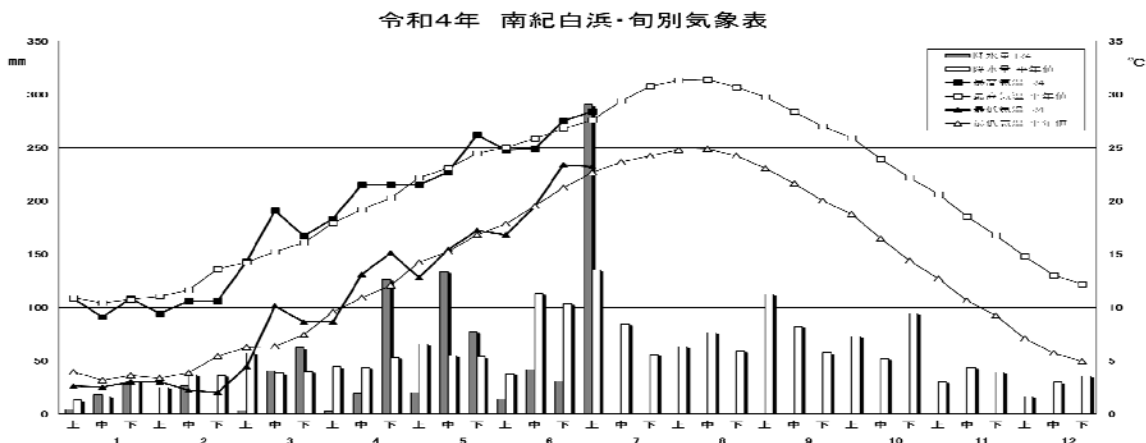
3. 今年産の生産予想量（7月12日時点）

品目	面積(ha)	生産予想量(t)	前年比	平年比
極早生	179.7	2,969	96.7%	95.2%
早生	446.1	6,075	93.4%	97.6%
合計(普通含む)	629.1	9,062	94.5%	96.7%

生産量は今後の気象等により変動することがある。

4. 病害虫については、ハダニ、カミキリムシの発生が見られる。

5. 果実生育期の気温は、平年と比べ5月下旬の気温は高く、6月上・中旬の気温は低くなり、6月下旬以降は高くなった。また5月中・下旬の降水量は平年を上回ったが、6月は平年を下回り、7月上旬は平年を上回る降水量があった。



南紀白浜気象データより